

コマーシャルの中の男女役割を問い直す会 活動の記録 (95年~01年)

● [1995年]

- (1月 阪神・淡路大震災)
- 4月 第22回テレビCMアンケート実施
- 11月「会報」第9号発行
- 11月「先駆的な活動によって男女平等の推進に貢献した」ことにより、95年度大阪府女性基金「プリムラ奨励賞」を受賞
- 11月 第23回テレビCMアンケートを実施

● [1996年]

- 5月 第24回テレビCMアンケートを実施
- 9月 第1回「男のフェスティバル」で分科会「メディアのなかの男らしさ」を開催
- 9月 96年度の大阪府ジャンプ活動助成事業(選定事業)の認定を得て、CM制作者、研究者、広告代理店、スポンサー企業、テレビ局、新聞社、地方自治体などを対象に、「『性の商品化』に対するメディアの作り手・送り手の意識、並びに取り組み実態調査」を実施
- 11月 第25回テレビCMアンケートを実施

● [1997年]

- 7月『性の商品化とメディアー「性の商品化」に対するメディアの作り手・送り手の意識、並びに取り組み実態調査報告書』を発行
- 9月 第2回「男のフェスティバル」で分科会「メディアと性の商品化」を開催
- 11月『メディアにおける「性の商品化」に関する作り手・送り手の本音集ー「性の商品化」に対するメディアの作り手・送り手の意識、並びに取り組み実態調査報告書/別冊』を発行
- 12月 兵庫県女性センターの「グループ交流フェスティバル」で分科会「メディアと女性の人権」を開催

97年~00年 テレビCMコンテストを休止

● [1998年]

- 1月~12月 尼崎市で開かれた「日本女性会議98 あまがさき」実行委員会に参加
- 6月「女性会議」の事前学習会として、神戸新聞情報科学研究所の山根木夕紀さんとFMわいわいの吉富志津代さんを招いて、「メディアを私たちのものにするために」その1「コミュニティ放送に何ができるか」と題した公開学習会を開催
- 7月 98年度の大阪府ジャンプ活動助成事業の認定を得て、テレビ局及び視聴者に対して「テレビ番組における性的表現とVチップの導入に関する意識調査」を実施
- 7月「女性会議」の事前学習会「メディアを私たちのものにするために」その2として、地元のケーブルテレビ局とコミュニティFMラジ

オ局のスタジオ見学会を開催

- 8月 国立婦人教育会館で開かれた「女性学・ジェンダー研究フォーラム」でワークショップ「メディアにおける『性の商品化』とVチップ導入の可否について」を開催
- 8月「女性会議」の事前学習会として、東邦学園短期大学教授の津田正夫さんを招いて、「メディアを私たちのものにするために」その3、シンポジウム「アメリカのパブリックアクセス・チャンネルの現状を聞く」を開催
- 10月「女性会議」の事前学習会として、「メディアウォッチング香川」が作成したパネルをお借りして、パネル展「メディアの中の女性を考える展」を開催
- 10月「女性会議」の「女性とメディア」の分科会を企画・運営。「ただ見ているだけでいいですか?ーメディアと私たちの関係ー」と題して、東京学芸大学教員の村松泰子さんを助言者に、全国12のメディアウォッチグループを招待して交流を行う
- 11月 ドーンセンター(大阪府立女性総合センター)の「ドーンフェスティバル」で、大阪女子大学教員の萩原弘子さんと放送と女性ネットワークin関西の野崎清さんをゲストに、シンポジウム「メディアの暴力ー性の商品化のどこが問題か」を開催
- 12月 兵庫県女性センターの「グループ交流フェスティバル」で、ラジオ沖縄の源啓美さん、生駒CATVの平清隆さん、FMわいわいの日比野純一さんをお招きして、メインシンポジウム「住民が主人公のまちづくり メディアを私たちにもものにするために」を開催

● [1999年]

- 3月 在阪民放5局とNHK大阪放送局の視聴者対応担当者をゲストに、シンポジウム「放送はだれのもの Vチップ導入問題と放送のあり方を考える」を開催(「放送と女性ネットワーク in 関西」と共催)
- 10月「Vチップは日本のテレビを救えるか?ーテレビ番組における性的表現とVチップの導入に関する意識調査報告書」を発行

● [2000年]

- 9月 国立婦人教育会館で開かれた「女性学・ジェンダー研究フォーラム」でワークショップ「テレビCMは女性の労働をどう描いているか」を開催

● [2001年]

- 3月 テレビCMコンテストを復活、第26回テレビCMアンケートを実施